

千葉一夫後援会 ちばちゃん便り

I-modelにてスケジュールがわかります。
千葉一夫HP http://www.a8k.jp/chba_fc

千葉一夫
スケジュール

2004年 11月 旧号

千葉一夫後援会事務局
〒136-0074江東区東砂3-18-14
tel&fax03-3644-7371
有限会社ブルースカイ
tel045-331-2137 fax045-331-8667



10月31日(日)浅草公会堂、千葉一夫25周年記念コンサート盛大に終演をむかえることができました。本当にありがとうございました。

この場所を借りまして、制作に協力頂きました。キングレコードの皆さん東京労音十条センター、朝から食事をほとんどせずに準備頂いた音響、照明、進行のスタッフと会場を貸して頂いた浅草公会堂、すばらしい演奏をして頂いた河野正貴とダイナミックオーケストラの皆様、コーラスの伊藤美子・ベック由美子先生、指揮の川端マモル先生、踊って頂いた花寿美松扇先生、一見劇団の座長一見弘太郎。花形古都乃竜也、紅金之介を始めとする劇団の皆様、応援に駆けつけてくれた霧島浩二さん、あい＆もも香の二人、皆様おつかれさまでした本当にありがとうございます。

そして今回も一番感謝しなければいけないのは、ここまで25年にわたって応援いただいたファンの皆様であります。ありがとうございました。これからもご支援お力添え宜しくお願い致します。

千葉一夫担当マネージャー

岩崎 公一



リハーサル音合わせ風景
月丘ママ他の皆さんと記念撮影、向かって左は関西で活躍する中ひろみさん



10月11日亀戸の平安閣にてむらさき主催の『第4回むらさき会歌の祭典』にゲスト出演致しました。むらさきの月丘ママは歌手デビューなされたことがある方です。



おとこがさ
男笠 11月26日発売 KICM 858
作詩 藤田まさと 作曲 四方章人 編曲 池多孝春
あえ
C/W 1つか再会たら 作詩作曲 四方章人 編曲 池多孝春

昭和の歌謡詩人「藤田まさ」と「平成の世に遺す道中演歌」
作詩家「藤田まさ」とは、74歳でこの世を去るまでに、人の生きざま、人生の浮き沈みといった日本人の心を揺さぶる名作を世に送り出してきました。
特に「旅笠道中」「妻恋道中」「流転」「天利根月夜」といった股旅・道中物は、まさに藤田作品の真髄であり江戸情緒をたつぷりの「明治一代女」、軍国歌謡の代表作と言われる「麦と兵隊」、終戦の陰で引揚船から降り立つ我が子を待ちつづける、空しい母の姿を歌った「岸壁の母」などは、人の心をとらえて離さない歌にほかありません。
また藤田まさとの最後のヒットといわれるのが、他界2年後の昭和59年に大ヒットした「浪花節だよ人生は」である。
この「男笠」は人生の応援歌として20年以上前に書かれたもので、四方章人先生により曲は付けられていたものですが当時、事情によりお蔵入りしていたものを、最近の殺伐とした救いの無い時代に「歌を通して人の情や故郷大切さを皆に感じて欲しい」という「藤田まさ」と「先生の想いを世に送り出したい」と、平成の道中演歌として発売に至りました。